

2020年8月3日

参議院議長 山東 昭子 殿

衆議院議長 大島 理森 殿

市民連合めぐろ・せたがや

## 臨時国会をすみやかに開会することを要望します

新型コロナウイルスによる感染が広がっています。また、九州豪雨災害でも危惧されておりますように、今後の台風災害による複合災害も予見されます。このような危機的状況に対して、すでに野党から臨時国会召集の要求書が出されており、また東京都医師会からも法整備のための臨時国会開会が求められています。国民の生命・財産を守るために、一刻も早く臨時国会を開き、具体的な対策を検討、審議、策定されますよう、ここに要望致します。

### 国会開会要望の理由

#### **1. 緊急時であるからこそ、国民に開かれた透明な政策決定を望みます。**

新型コロナウイルス感染症対策においては、的確な情報を市民に公開しつつ、臨機応変に対応していくことが求められます。「専門家」の意見も分かれておりますし、政府分科会等「専門家」と政治的判断との齟齬も伝えられています。国会を開き、審議過程が国民の目に見える形で、政策決定がなされることを望みます。

#### **2. 予算執行の妥当性、透明性についても審議ください。**

国民が、税の使いみちについて透明な報告・審議を望むのは健全な民主主義のありかたです。今般、補正予算、予備費 10 兆円の計上は、日本の憲政史上、財政民主主義を危うくするものと考えられます。それだけでなく他の案件で、すでに透明性、公正性に疑義が生じています。早急に国会を開き、予備費の用途について審議下さい。また、新型コロナウイルス感染症対策の妥当性と改善について公開の場で議論下さい。

#### **3. 行政情報ならびに専門家知見が、国会を通じて国民と共有されるよう望みます。**

危機における市民の協力には、情報の健全な共有が必要です。新型コロナウイルス感染症の実態について、市民が具体的に知りたいと思っている現行制度の問題、たとえば、検査システム、情報収集過程、妥当な統計的評価について公開し、国民の様々な意見を代表する国会議員によって吟味がなされ、国民に理解と協力を得ていく民主主義の手続きとして、国会開催を望みます。

#### **4. 今年の秋冬の第三波、次の新型ウイルスに備えて、現行の法制度、行政機構のままで市民生活の安全は保てるのか、国会の場で審議されることを望みます。**

国民のいのちを守るためには、現行の法制度、保健所等の行政機構の何が問題で、制度的に何を改善すれば、第三波、第二の新型ウイルスに対応できるのか。市民の視点に立って国会の場で明らかにされることを望みます。(注:WHO、国際報道等では現在各国で「第二波」が生起しているとされています。)

#### **5. 生存の危機に陥っている人たちの諸問題を解決する場として国会の開会を望みます。**

社会的生存上の危機にあるもっとも弱い立場に置かれた当事者の声を政治に届けるのも国会の役割です。いのちとくらしを救うために、国会の開会を望みます。(以上)